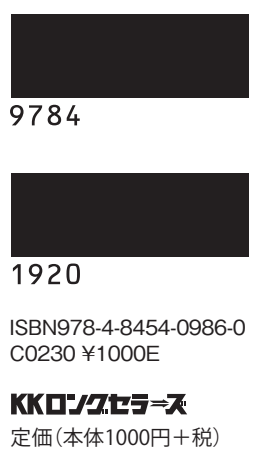


シャ セイキ  
童門冬二

作家。本名、太田久行。  
1927(昭和2)年、東京生まれ。  
東海大学附属旧制中学卒業。海軍少年飛行兵の特攻隊に入隊。戦後、東京都に入都、東京都立大学事務長、東京都広報室長・企画調整局長・政策室長などを歴任。美濃部亮吉都政のブレーンとして活躍した。1960(昭和35)年、『暗い川が手を叩く』で第43回芥川賞候補となる。  
1979(昭和54)年、美濃部知事の退任とともに都庁を去り、作家活動に専念。小説やノンフィクションの分野で独自の執筆活動を続けている。  
1999(平成11)年春、勲三等瑞宝章を受章。日本文藝家協会・日本推理作家協会会員。著書に、『小説上杉鷹山』『ぼさらの群れ』『北の王国』『名将に学ぶ人間学』『将の器 参謀の器』等多数。

平成28年7月1日初版発行  
著 者……謝 世輝  
発行者……真船美保子  
発行所……KKロングセラーズ  
東京都新宿区高田馬場2-1-2  
振替-00120-7-145737  
電話(03)3204-5161  
FAX(03)5273-7806  
http://kklong.co.jp/  
装 丁……



歴史に学ぶ成功の本質

童門冬二

KK  
ロングセラーズ

部下の戦意を引き出した織田信長の決断力

管理職ポストを複数制にした徳川家康

上杉鷹山の不況を乗り切る新発想

酒造家鳥井駒吉の不況乗り切り策

足利尊氏の不思議な人心掌握術

ヒラ社員を奮起させた加藤清正の部下採用法

武田信玄が期待する中間管理職の役割

土木建設会社社長豊臣秀吉の墨俣築城作戦

# 歴史に学ぶ 成功の

# 本質

織田信長  
豊臣秀吉  
徳川家康武田信玄  
伊達正宗  
細川忠興黒田如水  
伊能忠敬  
坂本龍馬

先が見えない時代の勝ち残り戦略

童門冬二

「先を見る力」が

成功と失敗の

Success and failure

分かれ目

いまのIT時代に生きて、生きる方法のすべてが、情報による、ということば、誰もが心得ている。正しい情報をあつめ、正しい先見力をもつためには、まず正しい情報に慕われる人格を培わなければならない。  
先見力は決して「大層なものではない」。

鍋島直茂(佐賀藩の家祖)がいつている。

「先見力は日々のこまかい情報の積み重ねによって得られる」。

時代に勝ち残る者と敗れ去る者との分かれ目は、この心構え次第になる。